

令和7年度 第3回 県政インターネットモニター調査（廃棄物リサイクル課、くらし交通安全課、サイバー企画課）

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：458人（回答率：89.1%）			
性別	カテゴリー名	回答者数	%
	男性	190	41.5%
	女性	264	57.6%
年代	その他	4	0.9%
	10代	11	2.4%
	20代	39	8.5%
	30代	39	8.5%
	40代	83	18.1%
	50代	119	26.0%
	60代	91	19.9%
	70代	58	12.7%
	80代	18	3.9%
住所	90代	0	0.0%
	賀茂	3	0.7%
	東部	135	29.5%
	中部	174	38.0%
	西部	145	31.7%
職業	県外	1	0.2%
	自営業	34	7.4%
	会社員	149	32.5%
	公務員	16	3.5%
	パート・内職従事者	85	18.6%
	学生	36	7.9%
	無職	121	26.4%
その他			
17			

○ 循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

問1（回答数1） n=458 人 %		
1 ごみが環境に与える影響はかなり深刻であり、現在の生活を大きく変えるような負担や対応が必要	112	24.5%
2 ごみが環境に与える影響は深刻であり、現在の生活を変えるような負担や対応が必要	219	47.8%
3 ごみが環境に与える影響は一定程度であり、一人ひとりの意識的な対応が必要	122	26.6%
4 ごみが環境に与える影響は軽微であり、当面は一人ひとりの意識的な対応の必要はない	2	0.4%
5 ごみが環境に与える影響はほとんどない、またはない	3	0.7%

問2（回答数1） n=458 人 %		
1 聞いたことがあり意味を知っている	399	87.1%
2 聞いたことはあるが、意味は知らない	48	10.5%
3 聞いたことがない	11	2.4%

問3（回答数1） n=458 人 %		
1 聞いたことがあり意味を知っている	83	18.1%
2 聞いたことはあるが、意味は知らない	109	23.8%
3 聞いたことがない	266	58.1%

問4（回答数複数回答可） n=458 人 %		
1 海洋プラスチックごみ防止「6R県民運動」	175	38.2%
2 しづおか食品ロス削減キャンペーン	273	59.6%
3 食べきりやったね！キャンペーン	57	12.4%
4 プラスチック資源循環フォーラム	51	11.1%
5 ふじのくにエコショッピング宣言制度	95	20.7%
6 静岡県リサイクル製品認定制度	47	10.3%
7 地球温暖化対策アプリ「クルボ」	148	32.3%
8 不法投棄110番	94	20.5%
9 SNS「ピリカ」の不法投棄通報機能	9	2.0%
10 知っているものはない	99	21.6%

問5（回答数1） n=458 人 %		
1 海洋プラスチックごみ問題を知っており、防止のための行動を必ず実践している	140	30.6%
2 海洋プラスチックごみ問題を知っており、防止のための行動を時々実践している	185	40.4%
3 海洋プラスチックごみ問題を知っているが、防止のための行動を実践していない	117	25.5%
4 海洋プラスチックごみ問題を知っているが、問題だと認識していない	3	0.7%
5 海洋プラスチックごみ問題を知らない	13	2.8%

問5-2（回答数複数回答可） n=325

	人	%
1 レジ袋をもらわない、または、マイバッグ・マイバックを使用する	293	90.2%
2 ペットボトルを控えてマイボトル（水筒など）を使用する	205	63.1%
3 プラスチック製品を繰り返し使用する（例：詰め替え用容器の利用、プラスチック容器の有効活用など）	199	61.2%
4 プラスチック製品をリユースする取組に参加する（例：クリーニングハンガーをお店に返却）	111	34.2%
5 プラスチック容器（食品トレイなど）の店頭回収を利用する	169	52.0%
6 地域のルールに従ってプラスチックごみを分別し、リサイクルに回す	231	71.1%
7 使い捨てプラスチックの食器、フォーク、ストローなどを使用しない	92	28.3%
8 外出時に出たプラスチックごみは持ち帰る	153	47.1%
9 海岸、河川、道路などの清掃活動へ参加する、路上などに落ちているごみを拾う	55	16.9%
10 紙や木などの代替素材の製品を利用する	61	18.8%
11 その他（自由記載）	3	0.9%

問7-2（回答数複数回答可） n=404

	人	%
1 料理を作り過ぎない	233	57.7%
2 残さずに食べる	347	85.9%
3 残った料理を別の料理に作り替える	133	32.9%
4 冷凍保存を活用する	275	68.1%
5 日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	200	49.5%
6 賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	266	65.8%
7 小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど食べきれる量を購入する	140	34.7%
8 商品棚の手前に並ぶ、期限の近い商品を購入する	111	27.5%
9 期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	205	50.7%
10 飲食店などで注文し過ぎない	171	42.3%
11 外食時には、小盛りメニューなど希望に沿った量で料理を提供する店を選ぶ	57	14.1%
12 ドギーバッグ（食べ残しを持ち帰る容器）を活用する	40	9.9%
13 フードバンクやフードドライブ※を活用する	44	10.9%
14 備蓄食品は、ローリングストック※により、無駄にしない	150	37.1%
15 その他（自由記載）	8	2.0%

問6（回答数複数回答可） n=458

	人	%
1 各地域における清掃活動予定の紹介	153	33.4%
2 6Rの取組例の紹介（6Rのやさしい取り組み方）	155	33.8%
3 県・市町・賛同企業などによる啓発などイベントの情報	156	34.1%
4 子どもが実践できる取組の情報	136	29.7%
5 各地域における分別方法の情報	157	34.3%
6 スーパーマーケットなどの店頭回収の情報	248	54.1%
7 容器や素材の見直しに取り組んでいる企業や製品の情報	122	26.6%
8 特にない（わからない）	26	5.7%
9 その他（自由記載）	16	3.5%

問8（回答数複数回答可） n=458

	人	%
1 食品ロスを削減できる取組例の紹介	236	51.5%
2 県・市町によるイベントなど（商業施設における啓発イベントなど）の情報	143	31.2%
3 企業によるイベントなど（料理教室やレシピ本など）の情報	115	25.1%
4 子どもが実践できる取組の情報	112	24.5%
5 家庭で眠っている食品の寄附先の情報	125	27.3%
6 食材を使い切る調理法の紹介	189	41.3%
7 特にない（わからない）	48	10.5%
8 その他（自由記載）	19	4.1%

問7（回答数1） n=458

	人	%
1 食品ロス問題を知っており、削減のための行動を必ず実践している	191	41.7%
2 食品ロス問題を知っており、削減のための行動を時々実践している	213	46.5%
3 食品ロス問題を知っているが、削減のための行動は実践していない	47	10.3%
4 食品ロス問題を知っているが、問題だと認識していない	3	0.7%
5 食品ロス問題を知らない	4	0.9%

問9 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 買い物袋（マイバッグ）を持参する（レジ袋をもらわない）	406	88.6%	
2 詰め替え製品を使う	358	78.2%	
3 使い捨て製品（一度きりで使い捨てる食器類や飲料容器）は買わない	114	24.9%	
4 簡易包装を申し出る、または、取り組む店を利用する	134	29.3%	
5 壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ	179	39.1%	
6 買い過ぎ、作り過ぎ、食べ残しをしないなど、食品を捨てない（有効利用する）	295	64.4%	
7 生ごみはよく水切りをしてから捨てる	172	37.6%	
8 マイグッズ（マイボトル、マイカップ、マイはしなど）を使う	223	48.7%	
9 壊れたものは修理して長く使う	191	41.7%	
10 不用品をバザーやフリーマーケットに出したり、友人・知人と融通し合う	107	23.4%	
11 生ごみを堆肥にする	58	12.7%	
12 市町のごみ分別ルールを守る	291	63.5%	
13 トレイや牛乳パックなどの店頭回収、古紙や古着の回収に協力する	244	53.3%	
14 取り組んでいることはない	4	0.9%	
15 その他（自由記載）	4	0.9%	

問10 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 廃棄物の発生抑制・再使用の推進（各種リサイクルの推進など）	253	55.2%	
2 プラスチックごみ対策の推進（プラスチック代替素材への転換促進など）	239	52.2%	
3 産業廃棄物の適正処理の推進（処理による環境汚染の防止、優良認定業者の育成など）	194	42.4%	
4 不法投棄対策の推進	269	58.7%	
5 災害廃棄物の適正処理の推進	136	29.7%	
6 廃棄物処理体制の充実（ごみ処理の広域化・ごみ処理施設の集約化の推進、不用品回収業者対策の強化など）	152	33.2%	
7 食品ロス対策の推進	172	37.6%	
8 循環産業の振興支援（リサイクル製品認定制度の普及促進など）	97	21.2%	
9 住民などへの啓発、関係機関との連携強化（環境教育の推進など）	141	30.8%	
10 特になし	18	3.9%	
11 その他（自由記載）	12	2.6%	

○防犯まちづくりに関するアンケート

問1 (回答数1)	n = 458	人	%
1 高いと思う	67	14.6%	
2 どちらかといえば高いと思う	262	57.2%	
3 どちらかといえば低いと思う	99	21.6%	
4 低いと思う	9	2.0%	
5 わからない	21	4.6%	

問2 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 戸締まりの徹底	414	90.4%	
2 防犯性の高い鍵、防犯ガラス、防犯フィルム、防犯砂利の設置	111	24.2%	
3 防犯カメラやセンサーライトの設置	112	24.5%	
4 自転車やオートバイの二重施錠（ツーロック）	64	14.0%	
5 民間セキュリティ会社サービスの利用	24	5.2%	
6 電話勧誘や訪問販売の拒否	315	68.8%	
7 迷惑・悪質電話防止装置、留守番電話の利用による詐欺被害防止	190	41.5%	
8 不審者情報・犯罪情報提供メールサービス・アプリの利用	125	27.3%	
9 その他（自由記載）	6	1.3%	
10 何もしていない	10	2.2%	

問3 (回答数1)	n = 458	人	%
1 活発に行われている	4	0.9%	
2 どちらかといえば活発に行われている	81	17.7%	
3 どちらかといえば活発に行われていない	163	35.6%	
4 活発に行われていない	121	26.4%	
5 わからない	89	19.4%	

問4 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 防犯パトロール	29	6.3%	
2 通学路における子どもの見守り活動	35	7.6%	
3 日常生活（通勤通学、買い物、散歩等）の中での見守り活動	70	15.3%	
4 声かけ（あいさつ）運動	88	19.2%	
5 防犯セミナー・講習会への参加	20	4.4%	
6 地域の防犯リーダーや防犯アドバイザーへの就任・活動	7	1.5%	
7 その他（自由記載）	6	1.3%	
8 特になし	307	67.0%	

問5 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 防犯パトロール	46	10.0%	
2 通学路における子どもの見守り活動	81	17.7%	
3 日常生活（通勤通学、買い物、散歩等）の中での見守り活動	135	29.5%	
4 声かけ（あいさつ）運動	138	30.1%	
5 防犯セミナー・講習会への参加	107	23.4%	
6 地域の防犯リーダーや防犯アドバイザーへの就任・活動	24	5.2%	
7 その他（自由記載）	5	1.1%	
8 特になし	160	34.9%	

問5-2 (回答数1)	n = 163	人	%
1 時間がない	57	35.0%	
2 どこで行われているかわからない	14	8.6%	
3 入りづらい、参加するきっかけがない	33	20.2%	
4 活動の内容が大変そう	23	14.1%	
5 必要性を感じない	19	11.7%	
6 その他（自由記載）	17	10.4%	

問6 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 防犯灯や街路灯の増設	312	68.1%	
2 街路への防犯カメラの設置	292	63.8%	
3 社用車・バイク等のドライブレコーダーを活用した防犯見守り	124	27.1%	
4 個人宅への防犯カメラやセンサーライトの設置	161	35.2%	
5 住民自身のパトロール、見守り活動等、地域の防犯活動の活性化	98	21.4%	

問7 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%
1 犯罪全体の発生件数、どのような犯罪が発生しているか	277	60.5%	
2 子どもや女性に対する不審者情報、手口、被害の状況、対策	268	58.5%	
3 特殊詐欺の手口、被害の状況、対策	309	67.5%	
4 空き巣等の窃盗の手口、被害の状況、対策	298	65.1%	
5 車・バイク・自転車窃盗の手口、被害の状況、対策	201	43.9%	
6 インターネット・SNS利用による犯罪被害の手口、被害の状況、対策	249	54.4%	
7 地域の防犯活動団体の活動状況	109	23.8%	
8 その他（自由記載）	2	0.4%	
9 特になし	13	2.8%	

問1 (回答数1)	n = 458	人	%
1 そう思う	47	10.3%	
2 どちらかといえばそう思う	341	74.5%	
3 どちらかといえばそう思わない	58	12.7%	
4 そう思わない	12	2.6%	

問2 (回答数1)	n = 458	人	%
1 よくなったと思う	16	3.5%	
2 どちらかといえばよくなったと思う	164	35.8%	
3 どちらかといえば悪くなったと思う	248	54.1%	
4 悪くなったと思う	30	6.6%	

問3 (回答数複数回答可)	n = 458	人	%

<

問5 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 インターネット空間	403	88.0%	
2 道路上	276	60.3%	
3 繁華街	178	38.9%	
4 電車、バス、飛行機などの乗り物の中	154	33.6%	
5 駅	114	24.9%	
6 自宅	127	27.7%	
7 駐車場、駐輪場	110	24.0%	
8 公園	106	23.1%	
9 その他 (自由記載)	10	2.2%	

問7 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 街頭や施設などの公共の場所における防犯カメラの設置に対する支援	289	63.1%	
2 制服警察官によるパトロール	271	59.2%	
3 各種相談や要望に応じる窓口などの充実	134	29.3%	
4 インターネット空間におけるパトロール (サイバーパトロール)	242	52.8%	
5 身近な場所で発生する犯罪などの情報の発信	174	38.0%	
6 ストーカーやDV (配偶者などからの暴力)、児童虐待などの被害者の安全確保のための支援・関係機関との連携	126	27.5%	
7 サイバー犯罪や特殊詐欺などの最新の手口に関する情報発信や事業者などへの情報提供	148	32.3%	
8 110番通報に対する迅速な対応	140	30.6%	
9 学校や地域などの社会教育の場での防犯指導	143	31.2%	
10 青少年の非行の防止	104	22.7%	
11 住民によるパトロールや自主的な防犯活動をしている団体への支援	82	17.9%	
12 その他 (自由記載)	13	2.8%	

問6 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 特殊詐欺や悪質商法などの犯罪	294	64.2%	
2 不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪	274	59.8%	
3 悪質・危険な交通法令違反	264	57.6%	
4 殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	224	48.9%	
5 空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪	216	47.2%	
6 乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪	150	32.8%	
7 政府や企業に対するサイバー攻撃による機密情報や個人情報の流出	112	24.5%	
8 新型コロナ外出自粓の要請をめぐるトラブルなどに起因する犯罪	41	9.0%	
9 DV (配偶者などからの暴力)、児童虐待などの家庭内での犯罪	117	25.5%	
10 誘拐、子どもの連れ去りやいたずら	150	32.8%	
11 麻薬、覚醒剤の売買、乱用などの薬物犯罪	137	29.9%	
12 来日外国人による組織犯罪	220	48.0%	
13 すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪	114	24.9%	
14 児童ポルノ、児童買春などの子どもに対する犯罪	123	26.9%	
15 痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	133	29.0%	
16 重要インフラ事業者などに対するサイバー攻撃によるシステム障害	100	21.8%	
17 ストーカー行為	133	29.0%	
18 國際テロ組織などによるテロ行為	89	19.4%	
19 暴力団や準暴力団などによる組織犯罪	117	25.5%	
20 その他 (自由記載)	4	0.9%	

問10 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 ウィルス対策ソフトを入れている	268	58.5%	
2 OSやソフトウェアを常に最新の状態にしている	220	48.0%	
3 パスワードを長く複雑にしている	116	25.3%	
4 パスワードを使いまわさないようにしている	95	20.7%	
5 インターネットのサイバーセキュリティに関するニュースをよく見ている	104	22.7%	
6 メールやSMSの不審な添付ファイルやURLはクリックしないようにしている	331	72.3%	
7 怪しいと思ったら家族や警察に相談している	105	22.9%	
8 対策を講じていない	22	4.8%	
9 その他 (自由記載)	5	1.1%	

問13 (回答数1) n=458		人	%
1 警察が開催する防犯講話に参加し、専用端末（警察で用意したパソコンなど）で体験してみたい	160	34.9%	
2 自身の端末（スマートフォンやタブレット端末など）で体験してみたい	119	26.0%	
3 体験したくない	172	37.6%	
4 その他（自由記載）	7	1.5%	

問13-2 (回答数複数回答可) n=286		人	%
1 ランサムウェア	151	52.8%	
2 フィッシング	206	72.0%	
3 サポート詐欺	150	52.4%	
4 詐欺サイト・偽サイト	186	65.0%	
5 SNS型投資・ロマンス詐欺	105	36.7%	

問11 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 テレビ	264	57.6%	
2 ラジオ	55	12.0%	
3 新聞	175	38.2%	
4 インターネットニュース、ニュースアプリ	295	64.4%	
5 SNS (X (旧:Twitter) 等) や動画投稿サイト (YouTube等)	146	31.9%	
6 警察のホームページやSNS (X等) など	61	13.3%	
7 警察から発行される広報誌	47	10.3%	
8 警察のキャンペーンや講話等のイベント	24	5.2%	
9 行政機関 (県・市町など) のホームページやSNS (X (旧:Twitter) 等) など	81	17.7%	
10 行政機関 (県・市町など) から発行される広報誌	99	21.6%	
11 行政機関のキャンペーンや講話等のイベント	30	6.6%	
12 情報を入手していない	17	3.7%	
13 その他 (自由記載)	6	1.3%	

問8 (回答数1) n=458		人	%
1 大いに感じたことがある	109	23.8%	
2 やや感じたことがある	228	49.8%	
3 ほとんど感じたことはない	93	20.3%	
4 感じたことはない	28	6.1%	

問9 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 フッシングメール等で偽サイトに誘導し個人情報を盗み取る	369	80.6%	
2 偽サイトによる詐欺、悪質商法	343	74.9%	
3 SNSなどのアカウントの乗っ取りなどの不正アクセス	281	61.4%	
4 インターネットバンキングの不正送金	205	44.8%	
5 偽の警告画面を表示してウイルスに感染したと信じさせ、金品を要求する (サポート詐欺)	192	41.9%	
6 SNSなどネット上の名誉毀損・誹謗中傷	136	29.7%	
7 危険性や不安を感じていない	5	1.1%	
8 その他 (自由記載)	9	2.0%	

問12 (回答数複数回答可) n=458		人	%
1 サイバーパトロールによる犯罪情報等の把握	315	68.8%	
2 悪質化するサイバー犯罪に対処するための捜査資機材の整備や捜査 (解析) 能力の向上	288	62.9%	
3 学生やその保護者等に対するネット安全教室の開催	158	34.5%	
4 高齢者等に対するサイバー犯罪に関する防犯講話の実施	202	44.1%	
5 キャンペーン等のイベント広報活動の推進	96	21.0%	
6 SNS等を利用した防犯情報の発信活動の推進	132	28.8%	
7 企業・団体等へのセキュリティ対策強化の働きかけ	104	22.7%	
8 その他 (自由記載)	14	3.1%	

